**「◆太字」**部分は論点

募集

・テーマは設定せず広く募集

・ビュースポットは大阪府内とし、有料・無料は問わない

・ビュースポットが適切に維持管理されていることを条件

・写真とともにお勧めする理由を記載して応募

・写真の撮影時期は問わない

・視対象の参考例を提示（大阪ミュージアム登録物等）

・SNSによる募集は行わない

**資料２**

・建築関連団体等からの広報

・市町村を通じた周知

・大阪美しい景観づくり推進会議を通じた周知（まちづくり団体等への周知）

・景観サポーターへの周知

・大阪ミュージアムと連携した周知

事業フロー

他組織等との連携

選定

・一回あたりの選定数は応募件数の状況に応じて決定

・事務局の事前選定（応募件数による）

・市町村への照会（ビュースポットに関する情報収集）

・景観ビジョン推進部会で「選定の視点」に基づき選定

発信

**◆発信に使用するツール**

**・府ホームページ、SNSなど**

**◆発信するコンテンツ**

**・スポットから見たビューの写真**

**・ビュースポットの情報**

**・ビュースポットに関連する情報　など**

**◆現地に行きたいと思えるような発信**

・建築関連団体等によるまちあるきの実施

**◆他組織等との連携**

**◆選定されたビュースポットをどのように活用するか**

**・府民等の景観への興味･関心の向上**

**・既存景観行政の評価等**

**（ビュースポットの整備、視対象の保全、**

**公共事業における景観配慮の促進　など）**

**・定住促進、観光振興**

**◆市町村との連携**

**◆民間企業等との連携**

・市町村や民間と連携したビュースポットカードの活用により現地への来訪を誘導

・大阪ミュージアムと連携した発信

『(仮称)ビュースポットおおさか発掘・発信プロジェクト』の概要(案)

事業の背景

・良好な景観形成を継続していくためには、行政の力だけではなく景観まちづくりに主体的に取り組む府民・事業者の協力が必要

・大阪府域には府外の人にあまり知られていない美しい景観が数多くある

「都市景観ビジョン・大阪」における位置づけ

・人々が景観に対して関心を持ち、気軽に景観づくりに参画できる場づくり

・ホームページやSNSなどを活用した、効果的な景観資源の情報発信方策の検討

事業の目的

　　世界に誇れる大阪の魅力ある景観、きらりと光る個性豊かで多彩な大阪の景観を美しく眺めることのできる場所（ビュースポット）を、一般からの募集により発掘したうえで、府の目線で選定し、府域内外に情報発信することで、府民・事業者の景観への興味・関心の向上を図り、府域全体の良好な景観形成を推進し、「きらめく世界都市・大阪の実現」を図る

【モニタリング】

・ビュースポットから見る景観の変化（新たに阻害要因が発生していないか等）を定期的に確認

選定の視点

・誰もが知る世界に誇れる大阪の魅力ある景観を最も美しく眺めることができる場所

・一般にあまり知られていない個性豊かで多彩な大阪の景観を美しく眺めることができる場所

・今の時代性を表す、質の高い、しっかりとした景観を眺めることのできる場所

・ビュースポットが存在するエリアに著しい偏りが出ないよう、全体のバランスにも配慮

コンテンツの範囲

・景観資源単体を撮影したものではなく、広がりを持った写真を募集する

・期間が限定される祭、イベント等の写真も対象とする

・動画は写真と比較して選定できないため対象外とする

大阪府がビュースポットを選定する意義

・府民や事業者が景観に対して興味や関心を持ち、気軽に景観づくりに参画できる場づくりにつながる

・まちに対する魅力の再認識や誇りと愛着（シビックプライド）の向上が図られ、良好な景観形成や定住促進につながる

・文化・観光部局との連携により、ビュースポットを活用した文化振興、観光振興につながる

・ビュースポットを活用した既存景観行政の評価等につながる